



SIOS DataKeeper Cluster Edition

v8.3

リリースノート

2015年 11月

このドキュメントおよびその内容は SIOS Technology Corp. (旧称 SteelEye® Technology, Inc.) の所有物であり、いかなる無許可での使用および複製も禁じます。SIOS Technology Corp. はこのドキュメントの内容に関していかなる保証も行いません。また、事前の通知なくこの出版物を改訂し、本書に記載された製品に変更を加える権利を保有しています。最新のテクノロジー、コンポーネント、およびソフトウェアを使用して製品を改善するのが SIOS Technology Corp. の方針です。そのため、SIOS Technology Corp. は事前の通知なく仕様を変更する権利を保有しています。

LifeKeeper、SteelEye、および SteelEye DataKeeper は SIOS Technology Corp. の登録商標です。

本書で使用されるその他のブランド名および製品名は識別のみを目的としており、各社の商標である場合があります。

出版物の品質を維持するために、このドキュメントの正確さ、わかりやすさ、構成、および価値に関するお客様のご意見をお寄せください。

宛先:

ip@us.sios.com

Copyright © 2015

By SIOS Technology Corp.

San Mateo, CA U.S.A.

All rights reserved

目次

SIOS DataKeeper Cluster Edition	1
はじめに	1
SIOS DataKeeper Cluster Edition v8 の新機能	1
.....	2
バグの修正	2
製品定義とプラットフォーム	4
製品要件	4
ローカルセキュリティポリシーの要件	5
既知の問題	5
SCVMM 2012	5
Windows Server 2012	5
DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイド	6

SIOS DataKeeper Cluster Edition

リリースノート

バージョン 8.3

(Version 8 Update 3)

重要!!

本製品をインストールまたは使用する前に、必ずこのドキュメントをお読みください!
このドキュメントには、インストール時とその前後に留意すべき重要な項目に関する情報が記載されています。

はじめに

SIOS DataKeeper Cluster Edition は最適化されたホストベースのレプリケーションソリューションとして Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、および Windows Server 2008 R2/2008 R2 SP1 Failover Clustering とシームレスに連携します。Windows Server Failover Clustering の機能である、サブネットを経由したフェイルオーバーや調整可能ハートビートパラメータにより、管理者が地理的に分散したクラスタを管理するのが容易になります。SIOS DataKeeper は、両方のバージョンの Windows Clustering を拡張するデータレプリケーション機能により、共有されないディスクの高可用性構成をサポートします。

SIOS DataKeeper Cluster Edition をインストールすると、DataKeeper ボリュームと呼ばれる新しいストレージクラスリソースタイプを使用できるようになります。この新しい SIOS DataKeeper ボリュームリソースを従来の物理ディスクの共有ストレージリソースの代わりに使用することで、マルチサイトクラスタとも呼ばれる地理的に分散したクラスタが可能になります。

SIOS DataKeeper Cluster Edition v8 の新機能

機能	説明
本リリース(8.3)の新機能	
DataKeeper の通知アイコン	DataKeeper の通知アイコンは、Windows の通知トレイで DataKeeper ミラーのサマリを表示します。また、DataKeeper ミラー管理のショートカットとして、使用可能です。
mirrorcleanup.cmd	このコマンドは、ローカルシステム上のみで、選択されたボリュームの残りすべてのミラーを削除します。SIOS サポートによって推奨された場合のみ実行してください。
Powershell cmdlet サポート	ジョブの作成、ミラーの作成、ジョブの削除、ミラーの削除、または DataKeeper (New-DataKeeperMirror、New-DataKeeperJob、Remove-DataKeeperMirror、Remove-DataKeeperJob、Add-DataKeeperJobPair、Get-DataKeeperVolumeInfo) で使用されるボリュームについての情報を取得するのに Powershell cmdlet が使用可能になりました。

機能	説明
DKHEALTHCHECK	ステータスと問題の識別ツールをサポートしました。基本のミラーステータスと問題検知のためのコマンドラインインターフェースを提供します。
全体的なメンテナンス	下記の バグ修正 を参照してください。
バージョン8.2.1の新機能	
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン8.2の新機能	
DataKeeper 非ミラーリングボリューム・クラスタリソース	DataKeeper 非ミラーリングボリューム・クラスタリソースでは、ユーザーは、フェイルオーバークラスタのローカルボリュームをミラーの一部とすることなく使用することができます。本機能の一般的な使用例としては、既存のハードウェア上で OS のローリング・クラスタ・アップグレードを実現したり、tempdb を SQL 2008 R2 クラスタ、および、より古いバージョンのローカルストレージに移動させることも可能です。
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.1 の新機能	
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.0.1 の新機能	
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.0 の新機能	
クラスタ外ノードへのレプリケーション	DataKeeper はフェイルオーバークラスタの外側にレプリケーションターゲットを置くことができます。
オペレーティングシステムサポート	DataKeeper は Windows 2008R2 以降の 64 ビットオペレーティングシステムのみをサポートします。以前のバージョンの Windows または 32 ビットシステム上で実行するには、DataKeeper v7 を使用してください。
Windows 2012 R2 サポート	DataKeeper Windows 2012 R2 をサポートします。
全体的なメンテナンス	バグ修正

バグの修正

以下に、最新のバグの修正および機能強化のリストを示します。

バグの修正

バグ	説明
3932	ExtMirSvcを実行していない場合に、DKCEボリュームがオフラインハングする問題を修正しました。
3941	2x2ミラーが予期せず削除される問題を修正しました。
3947	共有ボリュームでスプリットブレインの状態を正しく検知、処理するように修正しました。
3971	DataKeeper GUI 2x1ジョブの作成の際、共有ソースダイアログに「有効なIPがありません。」と表示されて「次へ」ボタンが有効となり、無効なジョブとなる問題を修正しました。
3979	2x1構成において、ターゲットシステムがすでに新しいソースに対してターゲットになっている場合に、共有ピアへのDataKeeperスイッチオーバーが失敗する問題を修正しました。
3981	スプリットブレインのイベントログメッセージに情報を追加しました。
3984	Windows Server 2012上のイベントログメッセージ 226(ExtMirr - システムログ)におけるドライブレターの文字化けを修正しました。
3987	ミラーの数を報告する追加のスイッチオーバーイベントログメッセージを作成しました。
3995	ジョブを削除した後、ブロックターゲットがミラーされない共有ターゲット上に残る問題を修正しました。
3998	複数のフェイルオーバーの後、共有ボリューム設定におけるデータ破損の可能性を排除しました。古いビットマップを使用することができます。
4005	BSODの可能性を回避するために、メモリ不足状態を処理するボリュームリサイズを改善しました。
4007	スイッチオーバーが失敗した際、成功を返す問題(ソース上のミラー状態がミラーリングではない)を修正しました。
4008	BSODの可能性を回避するために、スプリットブレイン処理を改善しました。
4011	DKサポートログの収集をアップデートして、DKHEALTHCHECKステータスの収集を追加しました。
4012	BSODの可能性を回避するために、故障中のMDL処理を改善しました。
4013	WSFCにおいて、同期ミラーのボリュームが突然ロックされ、偽のExtMirrイベントID 264が記録される問題を修正しました。
4015	ブロック解除の通知を待機する間に、ネットワークを再接続する場合のシステムデッドロックの可能性を排除しました。
4017	共有ボリュームのスイッチオーバーで、元のソースで中断しているミラーが自動的に中断されない問題を修正しました。
4018	ユーザが介入するまで中断したままになる一時的な問題が原因で中断されたマルチターゲットミラーのスイッチオーバーを修正しました。
4020	すべてのシナリオで、WSFCの設定より前にDKCEのインストールが適切に行われなかった問題を修正しました。
4025	A: または B: ボリュームをミラーすることが可能になりました。
4028	BSODの可能性を回避するために、ターゲットが削除される間のビットマップリクエストとソースシステム接続の処理を改善しました。
4033	あるマルチターゲットの再同期条件でミラーリング状態になるミラーターゲットが、Bitmapのシーケンス番号配列のエラーになるのを回避しました。
4040	スイッチオーバー後にTargetStateプロパティが正しく設定されない問題を修正しました。

製品定義とプラットフォーム

製品要件

製品	オペレーティングシステム	追加ソフトウェア
サーバ コン ポーネ ント		Hotfix - KB 951308 http://support.microsoft.com/kb/951308 Hyper-V リソースを保護する場合 Hotfix KB 958065 http://support.microsoft.com/?id=958065 注記: これらの Hotfix は、Windows Server 2008 R2/2008 R2 SP1 には必要ありません。 Microsoft Hotfix KB 2741477 は、VM をフェイルオーバークラスタに配置した後、仮想マシンに NIC を追加できるようにします(詳細は「 Hyper-V ホストクラスタエラー 」を参照)。
	DKCE サポートマトリックス を参照	詳細は 以下 を参照してください。
	注記: ターゲットスナップショット機能を使用するには、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 をインストールする必要があります。 http://www.microsoft.com/net からダウンロードしてください。	
ユーザ イン ター フェース	DKCE サポートマトリックス を参照	MMC 3.0 - こちらからダウンロードしてください。 http://support.microsoft.com/kb/907265

注記: クラスタ内のすべてのサーバで同一バージョンの Windows を実行してください。

SIOS DataKeeper Cluster Edition をインストールして設定する前に、以下の設定を確認してください。

- **重要:** DataKeeper を実行するすべてのサーバでローカル管理者権限を持ったメインアカウントを使用することを推奨します。ローカルアカウントを使用している場合、ユーザ名およびパスワードは DataKeeper を実行するすべてのサーバで一致しなければなりません。これはすべてのエディションおよびすべてのプラットフォームに該当します。
- ファイル共有監視を設定してクォーラムモードマジョリティノードを変更するなど、Microsoft のベストプラクティスに従ってください。
- DataKeeper のフェイルオーバークラスタ登録は、各クラスタノードで起こる以下のイベントの60秒後に自動的に行われます。
 - DataKeeper Cluster Edition のライセンスを、各クラスタノードにインストール。

- o Windowsサーバのフェイルオーバークラスタ機能を、各サーバにインストール。
- o Windowsサーバのクラスタ設定を作成。

ローカルセキュリティポリシーの要件

Windowsサーバがドメイン内でない場合で、DataKeeper サービスをローカルシステムアカウントとして実行する場合、ローカルセキュリティポリシー設定 [ネットワークアクセス: Everyone アクセス許可を匿名ユーザーに適用する] を有効にする必要があります。

既知の問題

SCVMM 2012

SCVMM 2012 で DataKeeper を使用する場合は、SCVMM 2012 SP1 を使用する必要があります。

Windows Server 2012

Windows Server 2012 に関連する問題および強化については、DataKeeper Cluster Edition テクニカルドキュメンテーションの「既知の問題」セクションの以下のトピックを参照してください。

- WSFC 2012 Failover Cluster Manager UI の欠陥
- WSFC 2012 の新しいファイルサーバタイプがサポートされない
- WSFC でのミラーの手動作成
- WSFC 2012 クラスタ作成 デフォルト設定の問題
- WSFC 2012 ファイル共有をファイルサーバリソースに対して作成できない
- WSFC 2012 Server Manager – 不正なボリューム表示
- WSFC 2012 Server Manager – DataKeeper 「ディスク」がクラスタとして表示されない
- ミラー作成時に Windows Server 2012 デフォルト情報が見つからない
- Windows Server 2012 MMC スナップインクラッシュ
- Windows Server 2012 – クラスタ化された複数のファイルサーバの役割の同時移動が DataKeeper スイッチオーバーの失敗につながる場合がある
- Windows Server 2012 iSCSI ターゲットの役割がダイナミックディスクをサポートしない
- DataKeeper で iSCSI ターゲットを使用する

DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイド

SIOS DataKeeper Cluster Edition を利用するにあたって、DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイドを参照してください。